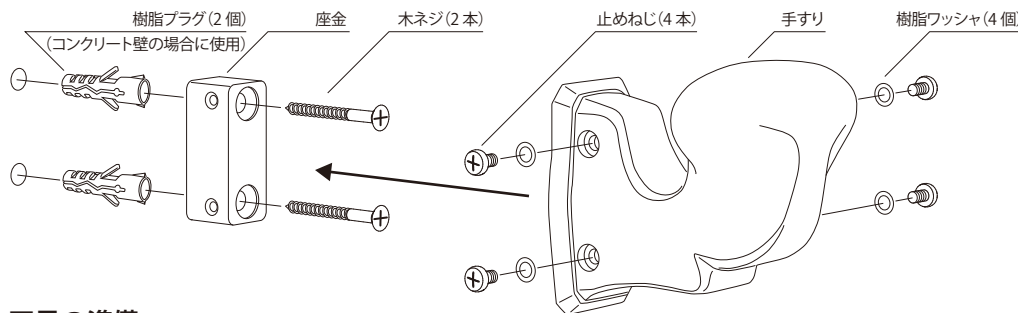


この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになられた後も、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



工具の準備

以下の工具をご用意ください。（製品には付属しておりません）

- ・ +ドライバー
- ・ ドリル（下穴を明けるための道具）※下地がコンクリートの場合はコンクリート用ドリル

安全上の注意

警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

警告

- ・ 改造はしないでください。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。（けがの原因）
- ・ 幼児や子供だけで使用させないでください。（けがの原因）
- ・ 風呂、シャワー室での使用や水洗い掃除を絶対にしないでください。（劣化の原因）

注意

- ・ ビスのゆるみはガタツキや手を傷つけたり、思わぬ不具合の発生の原因となります。確実に固定してください。
- ・ 定期的に点検し、ゆるみを感じられたときは各部のネジを調整し、適切な作動でご使用ください。（破損の原因）
- ・ ぶら下がったりしないでください。（破損・脱落の原因）
- ・ 物をぶつけたりしないでください。（破損の原因）
- ・ お手入れをするときは、ベンジン、シンナー、アルコール、灯油などの溶剤や薬品類、磨き粉などは使用しないでください。（変色・材質劣化の原因）

お手入れ方法

- ・ 本体の汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ります。汚れがひどいときには、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取った後、洗剤が残らないように水拭きした上で乾拭きしてください。
- ・ 埃が積もると錆が出やすくなりますので時々埃を取り除いたり、柔らかい布などで拭いたりしてください。

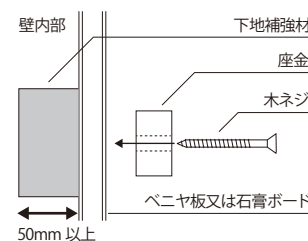
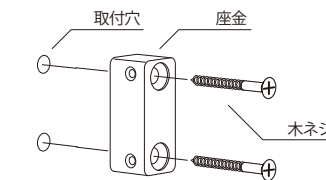
お問い合わせ 株式会社ユニオン営業部 <https://www.artunion.co.jp/contact/>

下地別取付方法 壁内部の強度のあるところにしっかり確実に取り付ける事が大切ですので

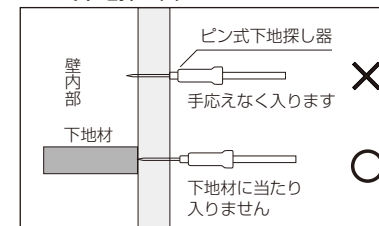
専門の施工業の方や大工さんに依頼されることをお勧めします。取付位置はご使用される方に合わせてお決めください。

壁内部に補強材がある場合

- 座金を木ネジで固定する。
※壁内部に補強材がない場合は厚さ50mm以上のものを入れてください。



ピン式下地探し図



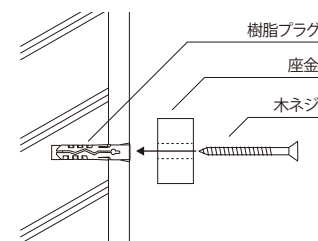
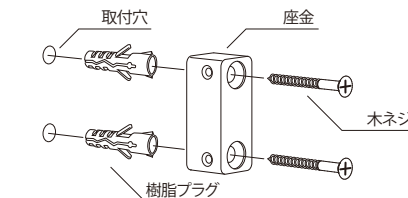
壁材が石膏ボードや薄い合板などの場合、強度がないので、市販の下地探し器（上図）などで下地があるか確認してください。
参考：壁の裏面にある間柱は、ほとんどの場合400～500mm間隔で取り付けられています。

- 座金に手すりをはめ込み、樹脂ワッシャをセットした止めねじで固定する。
※取付後、しっかりと固定されているか確認してください。

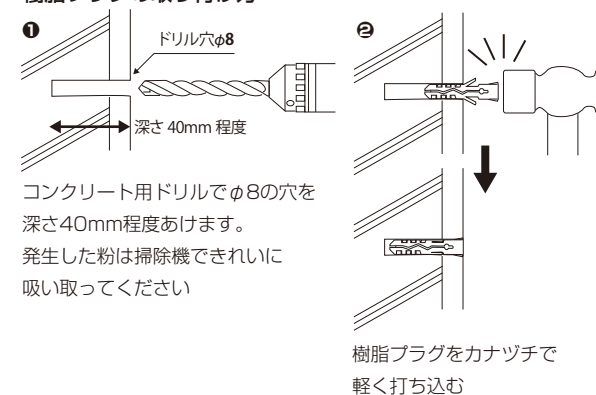
耐荷重 100kg

コンクリート壁の場合

- 樹脂プラグをコンクリートに打ち込み座金を木ネジで固定する。



樹脂プラグの取り付け方



コンクリート用ドリルでφ8の穴を深さ40mm程度あけます。
発生した粉は掃除機できれいに吸い取ってください

樹脂プラグをカナヅチで軽く打ち込む

